



広報 ひたちおた

令和5年
2023
2月号

No.735

住みたい田舎
北関東1位

住みたい田舎ベストランキング
北関東エリア1位!

特集

スポーツと夢を育む 新総合体育館基本設計

■令和5年 常陸太田市「二十歳のつどい」・・・P10

■市からのお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・P18

■水戸ホーリーホックホームタウン

PR大使が決まりました! ・・・・・・・・・・・・・・P22



広報
ひたちおたが
WEBでも読める





スポーツと夢を育む 新総合体育館基本設計

山 吹運動公園市民体育館は、建設からすでに40年以上が経過し、老朽化やバリアフリー未対応など課題も多い状況です。このため、スポーツを「する」ことはもちろん、スポーツを「みる」ことの感動、スポーツを「ささえる」活動への参画など、多様化するスポーツのニーズに応える施設として、新たな総合体育館を令和9年度供用開始に向けて整備することを予定しており、現在パブリックコメントを実施中です。本号では、この「新総合体育館整備基本設計」の概要についてお知らせします。

問：新体育館建設準備室（内線572）＊掲載内容は、今後の実施設計等において変更する場合があります。

〈新総合体育館の基本方針〉

基本コンセプト

整備方針

**「誰もが 気軽に スポーツを楽しみ 夢を育み
賑わいが生まれる スポーツアリーナ」**

1

市民の誰もが利用でき、
すべての人にやさしい体育館

- ・ 子どもから高齢者まで利用できる
- ・ ユニバーサルデザインに配慮
- ・ スポーツを「する人」「みる人」「ささえる人」に配慮

2

人が集い、交流拠点となる体育館

- ・ スポーツ活動を通じた市民の交流をささえる
- ・ さまざまな集会やイベントに利用できる

3

トップレベルの大会等＊に対応する体育館

- ・ トップレベルの大会等の開催により子どもたちの夢を育む
- ＊ トップレベルの大会等とは、プロや実業団、大学等の大会、プレ大会、練習試合や、高校の県大会などです。



やまぶき
プロムナード



建物概要

構造 ——— 鉄骨造+鉄筋コンクリート造
(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)

階数 ——— 地上2階

延床面積 ——— 6,912㎡

最高高さ ——— 約21m

主な諸室

■メインアリーナ 1,881㎡(49m×38m)

■サブアリーナ 852㎡(36.5m×23m)

■トレーニング室 180㎡

■多目的室(2室) 164㎡

■観覧席

(2階固定席1,012席/多目的観覧席11席)

駐車場 ——— 545台 ■一般駐車場 521台

■多目的駐車場 14台

■バス駐車場 10台

駐輪場 ——— 35台

バイク駐車場 — 5台

ユニバーサルデザイン計画

子育て世代、身体の不自由な方など、すべての人にやさしい体育館とします。主な計画は以下のとおりです。

- 階段(屋内屋外)は2段手すりとします。
- エレベーターを通り抜け型とします。
- 受付にローカウンターを設置します。
- 2階観覧席に多目的観覧席を設置します。
- トイレブースの約半数にベビーチェアを設置します。
- 1階にキッズトイレを設置します。
- 授乳室は直接ベビーカーで出入りできる広さを確保します。

その他、SDGsの理念に基づき、人と環境にやさしい持続可能な体育館を目指します。



みんなに
やさしすぎ♪



第6次総合計画	実施内容
■ 地域資源に磨きをかけた観光の振興 ■ イベント等による交流人口の拡大および消費拡大	■ 展示会、式典等の開催 ■ ドライブインシアター ■ パブリックビューイング 
■ 自然および生活環境の整備 ■ 地球温暖化対策の推進	■ 太陽光パネルの設置 ■ 雨水の貯留利用 ■ 電気自動車充電設備の設置 
■ 情報の共有と受発信機能の強化 ■ ネットワーク環境の整備	■ 大型ビジョンの設置 ■ デジタルサイネージの設置 ■ Wi-fi 環境の整備 

1F

一階平面図（仮）

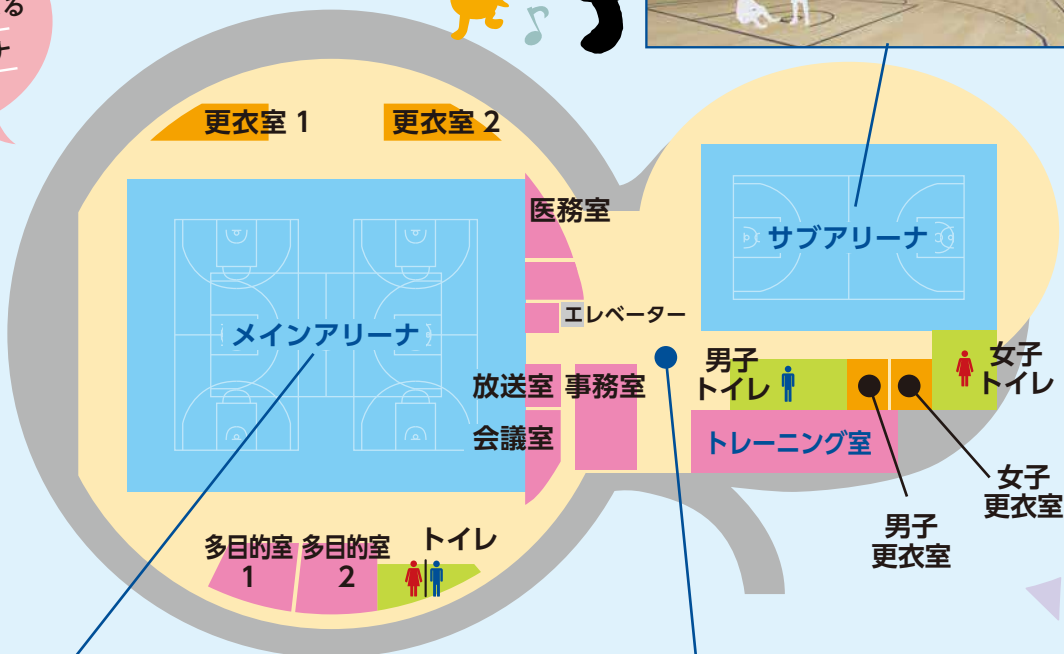
こちらから新総合体育館の
イメージ動画をご覧ください



さまざまな
競技に対応できる
2つのアリーナ



*天井や壁の色は
イメージです。

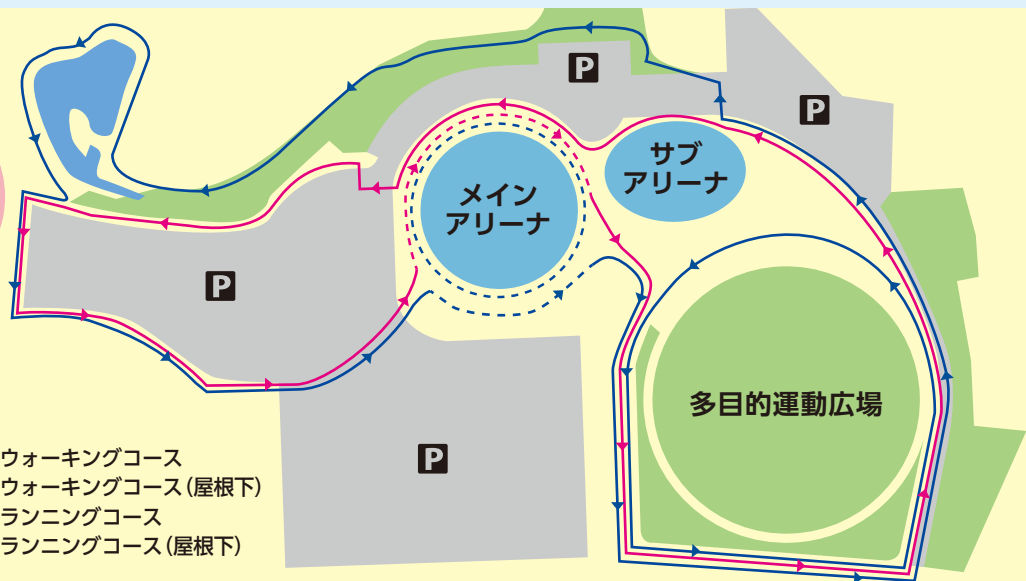


施設案内

ウォーキング・
ランニング
コースも
整備します！



- ウォーキングコース
- ウォーキングコース(屋根下)
- ランニングコース
- ランニングコース(屋根下)

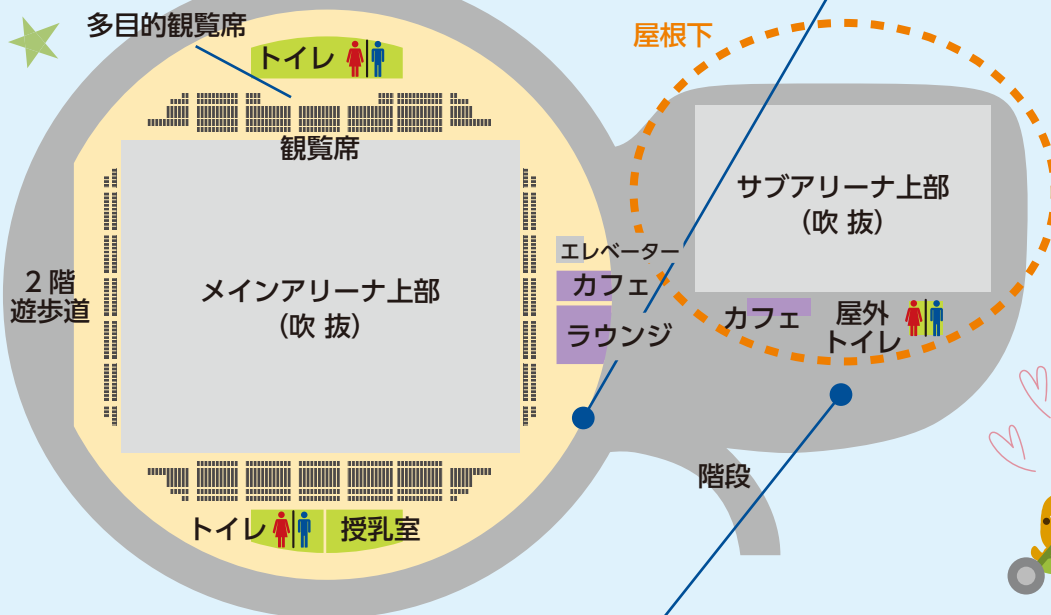


2F

二階平面図（仮）



観客出入口

多世代に
優しい施設

観覧ひろば



〈基本設計に関するご意見を募集しています〉

- ◆ 募集締切：2月21日（火）
- ◆ 閲覧方法：市ホームページ、スポーツ振興課 広報広聴課、各支所
- 詳しくは広報ひたちおた1月号19ページまたは市ホームページをご覧ください。



今後のスケジュール（予定）

	R4	R5	R6	R7	R8	R9
解体工事（市民体育館）						
実施設計						
本体工事・外構工事						
供用開始						

現在の山吹運動公園市民体育館は、
解体工事のため利用を休止します

- ◆ 市民体育館利用休止期間：3月21日（火・祝）～令和9年3月下旬
- ◆ 代替施設：水府海洋センター、大里ふれあいセンター 山吹運動公園武道館、学校体育施設

■ 詳しくは広報ひたちおた12月号16ページまたは市ホームページをご覧ください。

体育施設管理事務所を
移転します

- ◆ 移転場所：山吹運動公園テニスコート 更衣室（公園南側駐車場側）
- ◆ 移転予定日：3月28日（火）



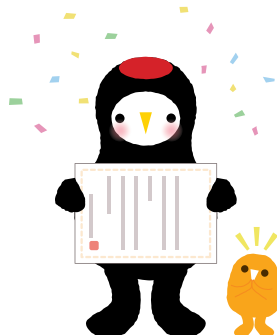


おめでとうございます



県不法投棄防止功労者

県庁で開催された県ボランティアU・D・（不法投棄）監視員研修会において、廃棄物の不法投棄未然防止、早期解決等多大な貢献のあった方として、小川正義さん（大森町）が茨城県不法投棄防止功労者として表彰されました。



県集団回収優良団体表彰

県では、資源ごみの集団回収について積極的な取り組みを行っている団体に対して、毎年度「茨城県集団回収優良団体表彰」を行っています。今年度は、集団回収の歴史が長く、地域のごみ再資源化の取り組みとして定着している山下町子供会育成会が「茨城県県民生活環境部長賞」を受賞しました。



山下町子供会育成会 会長 小林 清香さん



TOPICS

教育振興大会

12月24日、パルティホールで教育振興大会を行いました。式典では、スポーツや芸術文化等の各部門で活躍した児童生徒、教育に関する調査研究等で功績のあった教職員の表彰や、教育振興に貢献した方々への感謝状の贈呈を行いました。また、市内の小・中学校の代表生徒による「ふるさと教育」の実践発表や、「常陸太田の未来の姿について」をテーマに市内の中学生代表による意見交換が行われました。



金砂あおぞら塾

～親子でミニ門松づくり～

12月25日、赤土町集会所で「金砂あおぞら塾」が開催され、市内外から7組21人が参加しました。地元の方々の指導を受けながら、地元でとれた竹や南天、クマザサなどを飾り、それぞれの思いを込めた門松を作りました。参加した方からは「門松の作り方がわかり、とても楽しかった」などの感想が寄せられました。



門松で新年を祝う

12月26日、市役所と道の駅ひたちおたに高齢者生産活動センターさとみの皆さんから、門松が寄贈されました。里美地区産の竹や松、梅、南天などを使った立派な門松が、市役所の来庁者や道の駅の来場者を出迎えました。

また、郷土資料館梅津会館にはACC（赤土カントリークラブ）の皆さんから寄贈された門松が飾られました。この門松は12月25日に実施した「金砂あおぞら塾」の際に制作されました。



新年賀詞交歓会 並びに叙勲祝賀会

1月5日、新年賀詞交歓会並びに叙勲祝賀会を生涯学習センターで開催しました。昨年叙勲・褒章を受章された方に対し記念品を贈呈し、受章者代表として大久保太一さんからあいさつをいただきました。また、常陸太田リトルリーグと松平松風会の皆さん、水戸ホーリーホック代表取締役の小島耕さん、ひたちおたチーズ工場の亀井かなさんから新年の抱負発表があり、和やかな雰囲気新年をお祝いしました。



受章者代表・大久保太一さん



常陸太田リトルリーグの皆さん

消防出初め式

1月7日、パルティホールで消防出初め式を開催し、消防団員や消防本部職員等が参加しました。式典では、市消防団の組織等に関する規則に基づいた功労団員や部隊の表彰と、昨年国や県から表彰された方の伝達披露を実施。アトラクションとして、三才町太鼓保存会による太鼓演奏と地域おこし協力隊の橋本大輝さんによる三味線演奏も行われ、新春にあたり、消防関係者の士気を高めることができました。





太田西山高校の生徒が 生け花に挑戦

1月11日、太田西山高校商業コースの2年生11人が「新春を彩ろう」をテーマに市役所で生け花を行いました。これは授業の一環として実施したもので、生け花の講師の指導のもと、5班に分かれて取り組みました。班ごとに花や木の配置、配色など意見を出し合いながら作品を制作。参加した生徒は「難しかったけれど楽しく生けることができた」と話してくれました。作品は約1週間市役所に飾られ、来庁者を楽しませてくれました。



世矢幼稚園 親子で餅つき・まゆ玉づくり

1月12日、世矢幼稚園で老人会や社会福祉協議会世矢支部の皆さんの協力のもと、親子餅つき・まゆ玉づくりが行われました。子どもたちはまず、子ども用の臼と杵を使って親子で餅つきに挑戦。「よいしょ、よいしょ」の掛け声に合わせて餅をつきました。次に、ピンクや緑に着色した餅を、地域の方が用意してくれた木の枝につけてまゆ玉を作りました。かわいらしいまゆ玉を作ることができ、子どもたちは満足そうな笑顔を見せてくれました。



水戸ヤクルト
販売株式会社様より

◆屋内すべり台
じょうづるはうすに設置しました。



温かいご支援
ありがとうございます



「住みたい田舎」北関東エリア

総合部門・子育て世代部門で第1位

移住を検討する方に田舎暮らしを紹介する月刊誌「田舎暮らしの本」(宝島社)の「2023年版住みたい田舎ベストランキング」において、北関東エリア(茨城県・栃木県・群馬県)の総合部門と子育て世代部門で本市が1位を獲得しました。新婚家庭家賃助成や住宅取得促進助成などの制度で、子育て世帯や若い移住者の結婚、出産、育児をサポートしている点等が評価されました。

北関東エリア

総合部門..... **第1位**

子育て世代部門..... **第1位**

人口3万人以上 5万人未満のまち (全国)

総合部門..... **第3位**



各市町村が回答した全279項目のアンケート結果が点数化され、ランキングとして発表されています。全国では671市町村、北関東エリアでは45自治体、人口3万人以上5万人未満のまちでは123自治体から回答がありました。

